

No. **117** 2019. September 3:00PM 開演
9/13 **金** 14 **土** 15 **日**



指揮・芸術監督
佐渡 裕
Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director

ブルックナー：**交響曲 第8番** ハ短調
Anton Bruckner: Symphony No.8 in C minor

オープニングを飾るのは、佐渡裕芸術監督によるブルックナーの交響曲第8番。佐渡監督自身、これまでPACとともに第4番、第9番と演奏経験を重ねる中、ブルックナーの作品の深さとおもしろさに取り憑かれたといえます。大きな世界観に身を委ねる体験を、お楽しみに。

No. **118** 2019. October 3:00PM 開演
10/18 **金** 19 **土** 20 **日**



指揮
アレクサンドル・ヴェデルニコフ
Alexander Vedernikov, Conductor



ヴァイオリン
クララ=ジュミ・カン
Clara-Jumi Kang, Violin

チャイコフスキー：**ヴァイオリン協奏曲** 二長調 op.35
Pyotr Il'yich Tchaikovsky: Violin Concerto in D major, op.35

プロコフィエフ：**交響曲 第5番** 変ロ長調 op.100
Sergei Prokofiev: Symphony No.5 in B flat major, op.100

名指揮者ヴェデルニコフが3年ぶりにPAC定期に登場。今回も得意のロシア音楽で、PACにその音楽の真髄を伝えます。ソリストに招くのは、日本では2010年仙台コンクール優勝者としてもおなじみのクララ=ジュミ・カン。のびやかなサウンドが若いPACの音と共鳴します。

アレクサンドル・ヴェデルニコフ(指揮) モスクワ生まれ。名門ボリショイ劇場の音楽監督および首席指揮者を経て、現在デンマーク王立歌劇場の首席指揮者、デンマーク・オーデンセ交響楽団の名誉指揮者を務める。日本でもN響をはじめとする主要楽団への客演で人気を誇る。
クララ=ジュミ・カン(ヴァイオリン) 2010年インディアナポリス国際コンクール優勝。マリンスキー歌劇場管、サンクトペテルブルク・フィル、ロツテルダム・フィル、モスクワ・フィル、ベルギー国立管、スイス・ロマンド管、ソウル・フィル等と共演を重ねている。

No. **119** 2019. November 3:00PM 開演
11/22 **金** 23 **土** 24 **日**



指揮
カーチュン・ウォン
Kahchun Wong, Conductor



チェロ
アントニオ・メネセス
Antonio Meneses, Cello

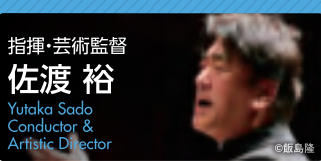
ショスタコーヴィチ：**チェロ協奏曲 第1番** 変ホ長調 op.107
Dmitry Shostakovich: Cello Concerto No.1 in E flat major, op.107

マーラー：**交響曲 第1番** 二長調 「巨人」
Gustav Mahler: Symphony No.1 in D major, "Titan"

今聴いておきたい注目の指揮者、1986年シンガポール生まれの気鋭カーチュン・ウォンがPAC定期初登場。同世代のPACと、マーラーの交響曲第1番「巨人」でどんな音楽を聴かせるのでしょうか。ブラジル生まれの名チェリスト、メセネスのショスタコーヴィチも必聴です。

カーチュン・ウォン(指揮) 2016年第5回グスタフ・マーラー国際指揮者コンクール優勝。2018年9月からはニュルンベルク響首席指揮者に就任など、その輝きを一段と増しており、欧米およびアジアのオーケストラから次々と招かれる。1986年、シンガポール生まれ。
アントニオ・メネセス(チェロ) 1977年ミュンヘン、1982年チャイコフスキーの両国際コンクールで優勝を果たして以来、世界的なチェリストとして活躍。早くからカラヤンに評価されベルリン・フィルと共演するなど世界的なオーケストラ、指揮者との共演は現在に至るまで続く。また、室内楽奏者としても活躍は目覚ましい。

No. **120** 阪神・淡路大震災25年 17(金) 5:46PM 開演
2020. January 18(土)・19(日) 3:00PM 開演
1/17 **金** 18 **土** 19 **日**



指揮・芸術監督
佐渡 裕
Yutaka Sado, Conductor & Artistic Director



ピアノ
菊池洋子
Yoko Kikuchi, Piano

ベートーヴェン：**ヴァイオリン協奏曲** 二長調 op.61 *ピアノ協奏曲版
Ludwig van Beethoven: Violin Concerto in D major, op.61 arranged for Piano Concerto

フォーレ：**レクイエム** op.48
Gabriel Fauré: Requiem, op.48

阪神・淡路大震災から25年となる1月の定期では、人類史上最も美しい鎮魂歌の一つ、フォーレの「レクイエム」が奏でられます。ソリストは、佐渡監督の信頼厚い幸田浩子とキュウ・ウォン・ハン。ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲ピアノ版は上演機会が少ない名曲。菊池洋子がソリストを務めます。



ソプラノ
幸田浩子
Hiroko Kouda, Soprano



バリトン
キュウ・ウォン・ハン
Kyu Won Han, Baritone

合唱 **オープニング記念第9合唱団** Opening Beethoven 9th Commemorative Chorus

菊池洋子(ピアノ) 2002年第8回モーツァルト国際コンクールで日本人として初めて優勝。ザルツブルク音楽祭のモーツァルト・マチネに出演するほか国内外で活躍。2018、19年は兵庫県立芸術文化センターで「モーツァルト 音のパレット」(全4回)を開催中。2007年第17回出光音楽賞受賞。
幸田浩子(ソプラノ) 数々の国際コンクールで上位入賞し、ローマ歌劇場やウィーン・フォルクスオーパー等欧州の名門歌劇場に次々と出演。国内でもオペラ、オーケストラコンサート、リサイタルの他、メディア等でも幅広く活躍中。二期会会員。
キュウ・ウォン・ハン(バリトン) ソウル出身。ベルヴェデーレ国際声楽コンクール等多数受賞。PAC定期演奏会には第16回「フォーレレクイエム」をはじめ、「ドイツ・レクイエム」、「カルミナ・ブラーナ」、ベートーヴェン「第九」、「天地創造」に出演。

No. **121** 2020. February 3:00PM 開演
2/14 **金** 15 **土** 16 **日**

オール・チャイコフスキー・プログラム
Pyotr Il'yich Tchaikovsky:
ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23
Piano Concerto No.1 in B flat minor, op.23

マンフレッド交響曲 op.58
Manfred Symphony, op.58

ミラノフのPAC定期への登場は、6度目。毎回繊細なタクトで若いオーケストラを名演に導く彼が、今回はパイロンの劇詩に基づくチャイコフスキーのマンフレッド交響曲で、壮大な物語を描きます。大阪生まれ、ヨーロッパ育ちの児玉桃は、PAC初登場!



指揮
ロッセン・ミラノフ
Rossen Milanov, Conductor



ピアノ
児玉 桃
Momo Kodama, Piano

ロッセン・ミラノフ(指揮) ブルガリア出身。現在、アメリカのコロンバス交響楽団、シャトゥークア交響楽団、プリンスストン交響楽団、そしてスペインのアストゥーリアス交響楽団の音楽監督を務め、2019年秋からは、スロベニア放送響の首席指揮者にも就任する。アジアでの評価も高い。
児玉 桃(ピアノ) J.S.バッハからメシアンを含む現代作品まで、幅広いレパートリーと豊かな表現力で活躍を続ける国際派。パリ国立音楽院に学ぶ。1991年、ミュンヘン国際コンクールに最年少で最高位に輝く。その後、ケント・ナガノ指揮ベルリン・フィル、小澤征爾指揮ポストン響などと共演。CDはオクタヴィア・レコード、ECMより多数。

No. **122** 2020. March 3:00PM 開演
3/13 **金** 14 **土** 15 **日**

ドビュッシー：**クラリネットのための第1狂詩曲**
Claude Debussy: Première rhapsodie for Clarinette et Orchestra

エスケシュ：**クラリネットと管弦楽のための協奏曲**
Thierry Escaich: Clarinet Concerto ※Dedicated to Paul Meyer (Japan Premier) ※ポール・メイエに献呈(日本初演)

ラヴェル：**「ダフニスとクロエ」 第2組曲**
Maurice Ravel: Daphnis et Chloé Suite No.2

ラヴェル：**ボレロ**
Maurice Ravel: Borélo

2014年の室内オーケストラシリーズに登場しているポール・メイエが、ソリストとしてPAC定期初登場。完璧なテクニックによる豊かな音楽表現で、極上の音楽を届けます。初登場のジェレミー・ローレルのタクトで、色鮮やかなフランスものプログラムをお楽しみください。



指揮
ジェレミー・ローレル
Jérémie Rhorer, Conductor



クラリネット
ポール・メイエ
Paul Meyer, Clarinet

ジェレミー・ローレル(指揮) 1973年パリ生まれ。同世代の中でも最もエキサイティングな指揮者の一人。古楽器オーケストラ「ル・セクレル・ド・ラルモニー」音楽監督。モントリオール響、ゲヴァントハウス管、パリ管など世界一流のオーケストラと共演。
ポール・メイエ(クラリネット) 名実共に世界のトップに立つクラリネット奏者。1965年アルガス生まれ。完璧な技術とずば抜けた音楽性、品の有る豊かな音色を併せ持つ天才クラリネット奏者として数多くの作曲家達から曲を捧げられ、多数のレーベルからCDが発売されている。 使用楽器: BUFFET CRAMPON Divine

No. **123** 2020. April 3:00PM 開演
4/17(金) 18(土) 19(日) 回

ファリャ: バレエ組曲「三角帽子」第1部

Manuel de Falla: El sombrero de 3 picos (The 3 Cornered Hat) Suite No.1

ロドリゴ: アランフェス協奏曲

Joaquín Rodrigo: Concierto de Aranjuez

ファリャ: 交響的印象「スペインの庭の夜」

Manuel de Falla: Impresiones sinfónicas Noches en los jardines de España (Nights in the Gardens of Spain)

ファリャ: バレエ組曲「三角帽子」第2部

Manuel de Falla: El sombrero de 3 picos (The 3 Cornered Hat) Suite No.2

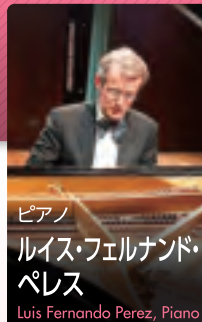
今回井上道義が届けるのは、情熱の国スペインの音楽。美しい古都に思いを寄せる名曲「アランフェス協奏曲」ではビジェガス、情景が思い浮かぶ「スペインの庭の夜」ではペレスと、二人のスペインの名手をソリストに招く豪華な内容。マエストロが繰り出す心揺さぶる熱い音楽にご期待ください!



指揮 井上道義
Michiyoshi Inoue, Conductor



ギター パブロ・サインズ・ビジェガス
Pablo Sainz Villegas, Guitar



ピアノ ルイス・フェルナンド・ペレス
Luis Fernando Perez, Piano

井上道義(指揮) ニュージーランド国立響首席客演指揮者、新日本フィルおよび京都市響音楽監督、大阪フィル首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2018年「大阪文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリテック・クラブ賞」をトリプル受賞。

パブロ・サインズ・ビジェガス(ギター) スペイン出身。カリスマ性、驚異のテクニックを併せ持つ。2003年タレガ国際ギターコンクール優勝。2006年ニューヨーク・フィルデビュー。クラシック音楽を通じ異文化コミュニティの交流を促すプログラム「The Music Without Borders Legacy」創設者。

ルイス・フェルナンド・ペレス(ピアノ) スペイン・マドリッド生まれ。レナ・ソフィア・シニア音楽学校、ケルン音楽大学で学ぶ。ピエール＝ロラン・エマルルに師事。グラナドス・ベスト・パフォーマー特別賞受賞、アルベニスのアルバムでも注目を集める。

No. **124** 2020. May 3:00PM 開演
5/29(金) 30(土) 31(日) 回

アイヴズ: 答えのない質問

Charles Ives: The Unanswered Question

ベートーヴェン: 交響曲 第4番 変ロ長調 op.60

Ludwig van Beethoven: Symphony No. 4 in B flat major, op. 60

R.シュトラウス: 交響詩「英雄の生涯」op.40

Richard Strauss: Ein Heldenleben (A Hero's Life), op. 40

日本でも人気上昇中、ミュンヘン出身の名指揮者リープライヒが、PAC定期初登場。披露するのは、アメリカ現代音楽の先駆者アイヴズと、ドイツ音楽からベートーヴェン、そしてミュンヘン生まれのR.シュトラウス。得意のプログラムで名演を引き出します。



指揮 アレクサンダー・リープライヒ
Alexander Liebreich, Conductor

アレクサンダー・リープライヒ(指揮) ブラハ放送交響楽団首席指揮者、リヒャルト・シュトラウス音楽祭芸術監督、ロイヤル・コンサートヘボウ管、ミュンヘン・フィル、バイエルン放送響、チューリッヒ・トーンハレ管等に客演を重ねている。

No. **125** 2020. June 3:00PM 開演
6/19(金) 20(土) 21(日) 回

ドヴォルザーク: 序曲「フス教徒」op.67

Antonín Dvořák: Hussite Overture, op. 67

ドヴォルザーク: ヴァイオリン協奏曲 イ短調 op.53

Antonín Dvořák: Violin Concerto in A minor, op. 53

ヤナーチェク: 歌劇「利口な女狐の物語」組曲 (ターリッヒによる)

Leoš Janáček: The Cunning Little Vixen Suite (arr. V. Talich)

ヤナーチェク: シンフォニエッタ

Leoš Janáček: Sinfonietta

おなじみ下野竜也が今回PACとの共演に用意したのは、スパイスの効いたオール・チェコ・プログラム。ヤナーチェク最晩年の二つの傑作を取り上げ、チェコ音楽の濃密な魅力をPACと描きます。ドヴォルザークのヴァイオリン協奏曲は、川久保賜紀の美しい音色でお楽しみください。



指揮 下野竜也
Tatsuya Shimono, Conductor



ヴァイオリン 川久保賜紀
Tamaki Kawakubo, Violin

下野竜也(指揮) 鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、01年プザンソン国際指揮者コンクール共に優勝、読売日本交響楽団正指揮者、首席客演指揮者を経て、現在は、広島交響楽団音楽総監督、広島ウインドオーケストラ音楽監督、京都市交響楽団首席客演指揮者。

川久保賜紀(ヴァイオリン) 2002年チャイコフスキー国際コンクール最高位受賞。北米の主要なオーケストラをはじめ、国内外のオーケストラと多数共演。高度な技術と作品の品位を尊ぶ深い音楽性に高い評価を得ている。近年はコンサート・プロデュースも手掛ける。桐朋学園大学院大学(富士)教授。

色とりどりのプログラムをマイ・シートで気軽に愉しめる!
PACオケを聴くには定期会員が絶対おトク!

定期会員券[9回通し券]受付開始!

一般予約開始 **4/14(日)**

芸術文化センター会員予約開始 **B席 C席 4/11(木) A席 4/13(土)**

「金曜通し券」「土曜通し券」「日曜通し券」をお選びいただき、同じお席で年間9回の定期演奏会をご鑑賞いただけます。

定期会員だけの特典はこちら!

- 1 1回券よりもお得な料金設定
- 2 室内楽演奏会を特別料金で
- 3 オーケストラ紹介パンフレットを進呈
- 4 公開リハーサルへご招待
- 5 PACオリジナル・グッズをプレゼント

※公開リハーサルのご案内は、複数枚ご購入いただいた場合、お申込者本人に郵送いたします。予めご了承ください。

定期演奏会料金表

	定期会員券(9回)	1回券
A	¥27,000 (9,000円おトク!)	¥4,000
B	¥22,500 (4,500円おトク!)	¥3,000
C	¥16,200 (1,800円おトク!)	¥2,000
D		¥1,000

※D席は1回券のみの取り扱いとなります。
※1回券は6月より順次発売を開始します。

ご予約方法

電話・インターネット **B・C席 4/11(木)~
A席 4/13(土)~**

窓口 **4/16(火)~**

※定期会員券の発売は5月末をもって終了いたします。
期間内でも各日予定枚数に達し次第、販売を終了させていただきます。
※引取り期間は窓口の混雑が予想されます。予めご了承ください。
※定期会員券をお求めいただくと先行予約会員にもご入会いただけます。

ご予約・お問い合わせ

芸術文化センターチケットオフィス

0798-68-0255

(10:00AM~5:00PM/月曜休み※祝日の場合翌日)

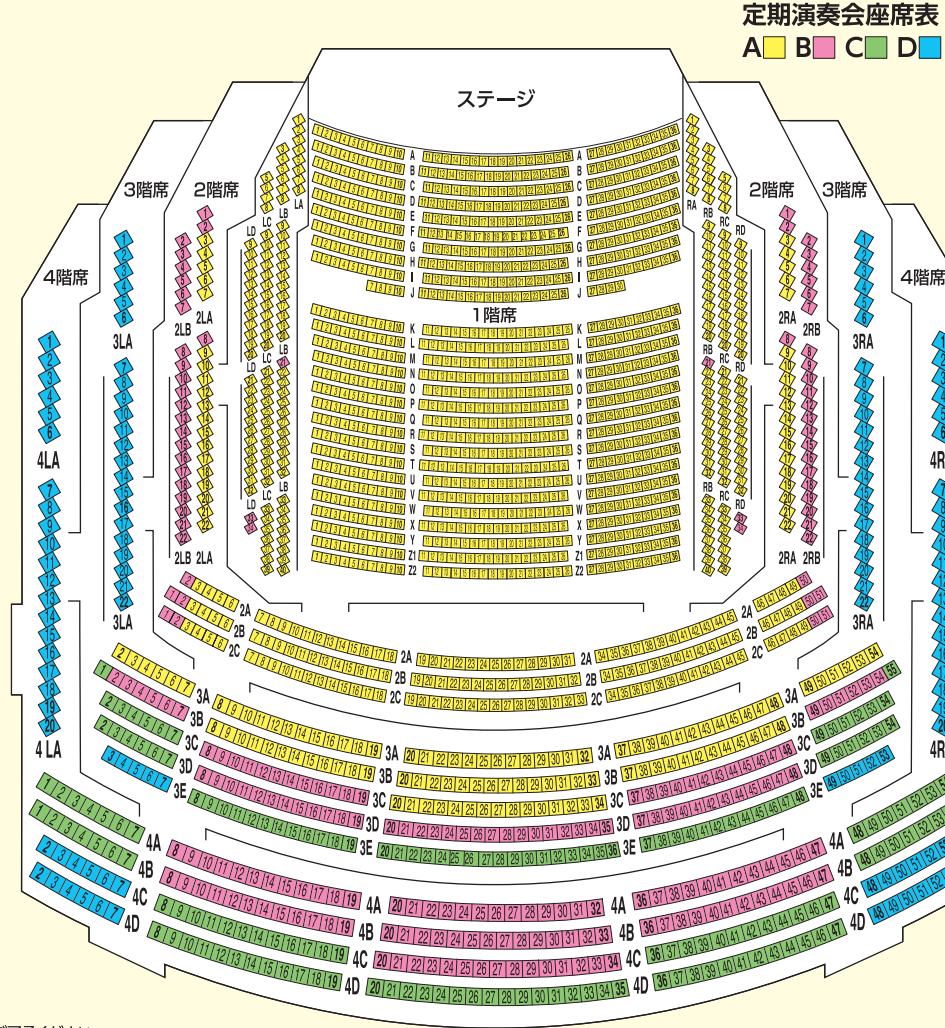
<http://www.gcenter-hyogo.jp>

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

※未就学児童の入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

<http://www.gcenter-hyogo.jp>
兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中!
詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>



便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

